

大隅地域感染症情報

第15週報 (令和6年4月8日～令和6年4月14日)

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和6年4月23日

【問い合わせ先】TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール: oosumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

県内に咽頭結膜熱流行発生警報発令中！

○定点把握疾患

鹿屋保健所管内では、継続して咽頭結膜熱流行発生警報発令中です。感染性胃腸炎、RSウイルス感染症は増加傾向です。今後の動向に注意し、引き続き基本的な手洗い・うがいに努めましょう。

＜定点当たり報告数＞

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			12週	13週	14週	15週	12週	13週	14週	15週	15週	14週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	29.50	13.75	6.13	5.13	3.40	1.20	1.00	0.25	3.50	5.32
COVID-19	-	-	5.88	4.75	4.25	3.75	5.40	3.20	2.25	2.50	3.33	3.40
RSウイルス感染症	-	-	0.00	0.20	0.00	2.60	0.33	0.00	0.00	0.00	1.63	0.60
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	2.80	1.20	1.40	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.88	2.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	5.60	3.40	4.00	4.00	1.00	0.67	0.00	0.50	2.63	2.74
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	17.40	11.40	8.80	14.40	4.67	3.00	0.00	0.50	9.13	4.74
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.12
手足口病	5.00/2.00	-	0.20	0.20	1.80	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.60
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
突発性発疹	-	-	0.00	0.40	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.26
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.20	0.20	0.60	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.12
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00						0.71
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	2	0	1	0	0	0	0	-	
COVID-19 入院患者(人)	-	-	2	2	0	0	1	0	0	1	-	

※志布志保健所管内では、定点医療機関が1減となりました。

■ 警報基準値以上

■ 注意報基準値以上

＜注目すべき感染症＞

・感染性胃腸炎

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より28人多い72人（定点当たり14.40）、志布志保健所の患者報告数の報告は、1人（定点当たり0.50）でした。

年齢別では、1歳(13人)、4歳、5歳、20歳以上(9人)、6歳(7人)の順に多いです。

前週の14週と比較し、増加傾向です。トイレの使用後は、石けんを使用した手洗い、うがいを行い、感染予防に努めましょう。



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	結核 1例	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	重症熱性血小板減少症 1例	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/8～4/14

鹿屋保健所管内では、インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、COVID19、带状疱疹が報告されています。志布志保健所管内では、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎が報告されています。

鹿屋保健所管内						志布志保健所管内				
	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	COVID19	带状疱疹		インフルエンザ	流行性耳下腺炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎
鹿屋市	3		2	4	1	曾於市		2	1	4
垂水市	1					志布志市				
東串良町				1		大崎町	6			
錦江町				4						
南大隅町										
肝属町	1	2		1	1					

* システムを使用している学校等で、出席停止を命じた日別の人数

(出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

★今週の TOPIC

～ダニ媒介感染症について～

病原体を保有するダニに刺されることによってクリミア・コンゴ出血熱、回帰熱、重症熱性血小板減少症(SFTS)、ダニ媒介脳炎、ツツガムシ病、日本紅斑熱などの感染症を発症することがあります。

◎ダニに刺されないために・・・

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに刺される危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は、明るい色のもの（マダニを目視で確認しやすい）がお薦めです。虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認して下さい。

◎マダニに刺された場合

マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から、長いものは10日間以上）吸血しますが、刺されたことに気がつかない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。また、マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

◎参考

厚生労働省ホームページ ダニ媒介感染症

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/O000164495.html>

県内で、今年度、1例目及び2例目の重症熱性血小板減少症(SFTS)の発生がありました

大隅地域感染症情報

第16週報 (令和6年4月15日~令和6年4月21日)

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和6年4月30日

【問い合わせ先】TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール: oosumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

県内に咽頭結膜熱、流行発生警報発令中！

○定点把握疾患

鹿屋保健所管内では、継続して咽頭結膜熱は流行発生警報発令中です。インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向です。引き続き基本的な手洗い・うがいを行い、感染予防に努めましょう。

<定点当たり報告数>

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			13週	14週	15週	16週	13週	14週	15週	16週	16週	15週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	13.75	6.13	5.13	6.38	1.20	1.00	0.25	0.00	4.25	3.34
COVID-19	-	-	4.75	4.25	3.75	3.75	3.20	2.25	2.50	1.25	2.92	3.34
RSウイルス感染症	-	-	0.20	0.00	2.60	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.47
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.20	1.40	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	2.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	3.40	4.00	4.00	5.80	0.67	0.00	0.50	0.50	3.75	3.57
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	11.40	8.80	14.40	14.80	3.00	0.00	0.50	0.00	9.25	5.49
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.00	0.60	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.14
手足口病	5.00/2.00	-	0.20	1.80	1.60	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.49
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
突発性発疹	-	-	0.40	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.20	0.60	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00						0.71
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	2	0	1	0	0	0	0	0	-	
COVID-19 入院患者(人)	-	-	2	0	0	0	0	0	1	0	-	

■ 警報基準値以上

■ 注意報基準値以上

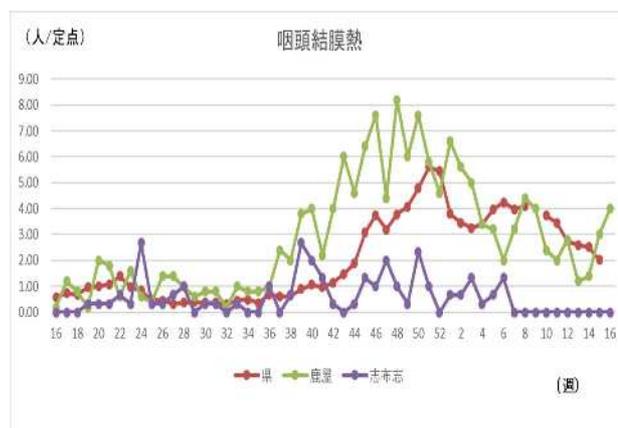
<注目すべき感染症>

・咽頭結膜熱

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より5人多い20人（定点当たり4.00）、志布志保健所の患者報告数の報告は、0人（定点当たり0.00）でした。

年齢別では、3歳(6人)、1歳(5人)、4歳(4人)の順に多いです。

前週の15週と比較し、増加傾向です。咽頭結膜熱の原因となるアデノウイルスなどはアルコールが効きにくいので、石けんを使用した手洗い、うがいを行い、感染予防に努めましょう。



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1例	該当なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/15～4/21

鹿屋保健所管内では、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、COVID19が報告されています。志布志保健所管内では、インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎、溶連菌感染症、COVID19が報告されています。

鹿屋保健所管内						
	インフルエンザ	流行性耳下腺炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	COVID19
鹿屋市		1	1		3	12
垂水市						
東串良町						1
錦江町						
南大隅町						
肝属町	1			1		4

志布志保健所管内					
	インフルエンザ	水痘	流行性耳下腺炎	溶連菌感染症	COVID19
曾於市		5	1	2	1
志布志市	1				
大崎町	11				2

* システムを使用している学校等で、出席停止を命じた日別の人数

(出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

★今週の TOPIC★

～大型連休、感染症にご注意ください～

厚生労働省 【出国前の注意事項】

「麻しん（はしか）」は
世界で流行している感染症です。

海外に行く方で、麻しん（はしか）にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に

- 麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
- 2回接種していない方は、予防接種を検討してください



蚊 意外にキケンあり。

マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症といった、蚊が媒介する感染症が、世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しているのをご存じでしょうか。
「蚊にさされた程度で」とあなどるなから、
場合によっては命にかかわる病気になることも、
海外の蚊には意外にキケンがいっぱいなのです。
熱帯・亜熱帯地域へ旅行されるみなさま、現地では長そでと長ズボンの服を着たり、
虫よけスプレーや蚊取り線香を使ったりして、蚊にされないよう十分にご注意ください。
現地で蚊にさされて熱が出た場合は、早急に医療機関を受診してください。
帰国時に発熱などがある場合は、検疫所の担当官にご相談ください。

Mosquito

In Foreign Countries
海外では、動物と距離をとろう。
Please Keep Your Distance.

厚生労働省
海外での感染症予防について、詳しくはこちらへ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

ゴールデンウィークを利用して海外へ渡航される方が増えることが予想されます。海外では、我が国に常在しない感染症や麻しんなど我が国よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、注意が必要です。

◎参考

厚生労働省ホームページ（海外へ渡航される皆様へ）：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

厚生労働省検疫所ホームページ：

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

大隅地域感染症情報

第17・18週報（令和6年4月22日～令和6年5月5日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和6年5月9日

【問い合わせ先】TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール:oozumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

県内に咽頭結膜熱流行発生警報発令中！

○定点把握疾患

鹿屋保健所管内では、継続して咽頭結膜熱流行発生警報発令中です。また、COVID-19、RSウイルス感染症が増加傾向です。志布志保健所管内では、増加傾向にある感染症はありませんが、引き続き基本的な手洗い・うがいをし、感染予防に努めましょう。

<定点当たり報告数>

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			15週	16週	17週	18週	15週	16週	17週	18週	18週	17週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	5.13	6.38	5.13	2.25	0.25	0.00	0.25	0.00	1.50	1.40
COVID-19	-	-	3.75	3.75	5.88	5.50	2.50	1.25	2.00	1.50	4.17	4.16
RSウイルス感染症	-	-	2.60	1.60	2.40	2.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.63	2.24
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	3.00	4.00	3.20	2.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.63	2.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	4.00	5.80	7.00	2.20	0.50	0.50	0.50	0.50	1.50	4.04
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	14.40	14.80	10.00	4.40	0.50	0.00	0.00	0.00	2.75	5.82
水痘	2.00/1.00	1.00	0.60	0.40	0.20	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.14
手足口病	5.00/2.00	-	1.60	0.40	2.40	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.08
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
突発性発疹	-	-	0.60	0.00	0.20	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.47
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.40	0.00	0.80	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.24
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00						1.14
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	-	
COVID-19 入院患者(人)	-	-	0	0	1	2	1	0	1	1	-	

■ 警報基準値以上

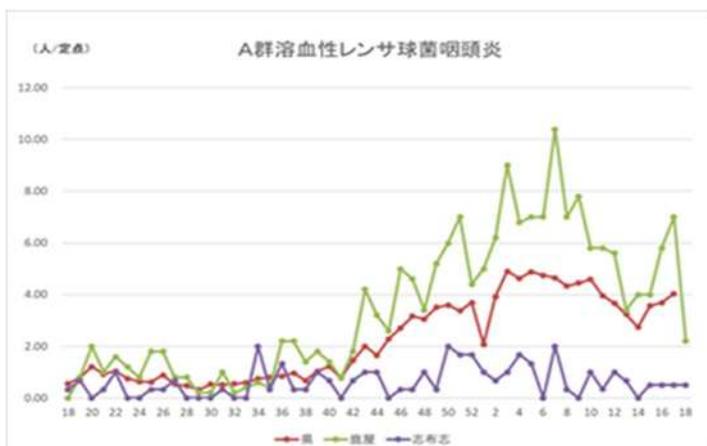
■ 注意報基準値以上

<注目すべき感染症>

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

鹿屋保健所における患者報告数は、17週は35人（定点当たり7.00）、18週は11人（定点当たり2.20）、志布志保健所の患者報告数の報告は、17週、18週ともに1人（定点当たり0.50）でした。

年齢別では、18週は、10～14歳(5人)、6歳(2人)、2歳、3歳、5歳、7歳、20～29歳(各1人)と、幅広い年代に多くなっています。



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	梅毒 1例(17週) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例(18週)	該当なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/22～5/5

鹿屋保健所管内の17週のインフルエンザによる出席停止は、前週より22人多い23人、18週では、17週より17人少ない6人が報告されました。また、17週は、インフルエンザによる学年閉鎖が1件ありました。

志布志保健所管内の17週のインフルエンザによる出席停止は、前週より4人少ない8人が報告され、18週の報告はありませんでした。

	インフルエンザ	溶連菌感染症	COVID19
鹿屋市	23	5	9
垂水市			
東串良町			
錦江町			
南大隅町			
肝属町			3

	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	COVID19
鹿屋市	6				10
垂水市				1	
東串良町					
錦江町			1		
南大隅町		2			
肝属町					

	インフルエンザ	水痘	溶連菌感染症	COVID19
曾於市		1	2	4
志布志市				2
大崎町	8		1	1

	水痘	COVID19
曾於市	1	4
志布志市		3
大崎町		

*システムを使用している学校等で、出席停止を命じた日別の人数

(出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

★今週の TOPIC★ ～梅毒による感染が広がっています～

◎梅毒とは

性的な接触などによって梅毒トレポネーマ (*Treponema pallidum*) という細菌に感染し発症します。

◎症状

I期顕症梅毒(感染後数週間)：口の中、肛門、性器等にしこりや潰瘍(かいよう)ができたり、股の付け根の部分(鼠径部)のリンパ節が腫れることもあります。これらの症状は痛みを伴わないことが多いです。

II期顕症梅毒(感染後数か月)：梅毒トレポネーマが血液によって全身に運ばれます。この時期に、「バラ疹(ばらしん)」とよばれる淡い赤い色の発疹が、手のひら、足の裏、体幹部などに出ることがあります。数週間以内に自然に軽快します。しかし、梅毒が治ったわけではありません。

晩期顕性梅毒(感染後数年)：ゴム腫と呼ばれるゴムのような腫瘤が皮膚や筋肉、骨などに出現し、周囲の組織を破壊してしまうことがあります。また大動脈瘤(だいどうみゃくりゅう)などが生じる心血管梅毒や、精神症状や認知機能の低下などを伴う進行麻痺、歩行障害などを伴う脊髄癆(せきずいろう)がみられることもあります。

◎治療と予防

ペニシリン系などの抗菌薬が有効です。2021年9月には、梅毒の世界的な標準治療薬であるベンジルペニシリンベンザチン筋注製剤の国内での製造販売が承認されました。予防法としては、性交渉の際はコンドームを適切に使用し、また、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。

◎参考 厚生労働省ホームページ 梅毒に関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html#Q7